



2025年 6月24日
第210号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

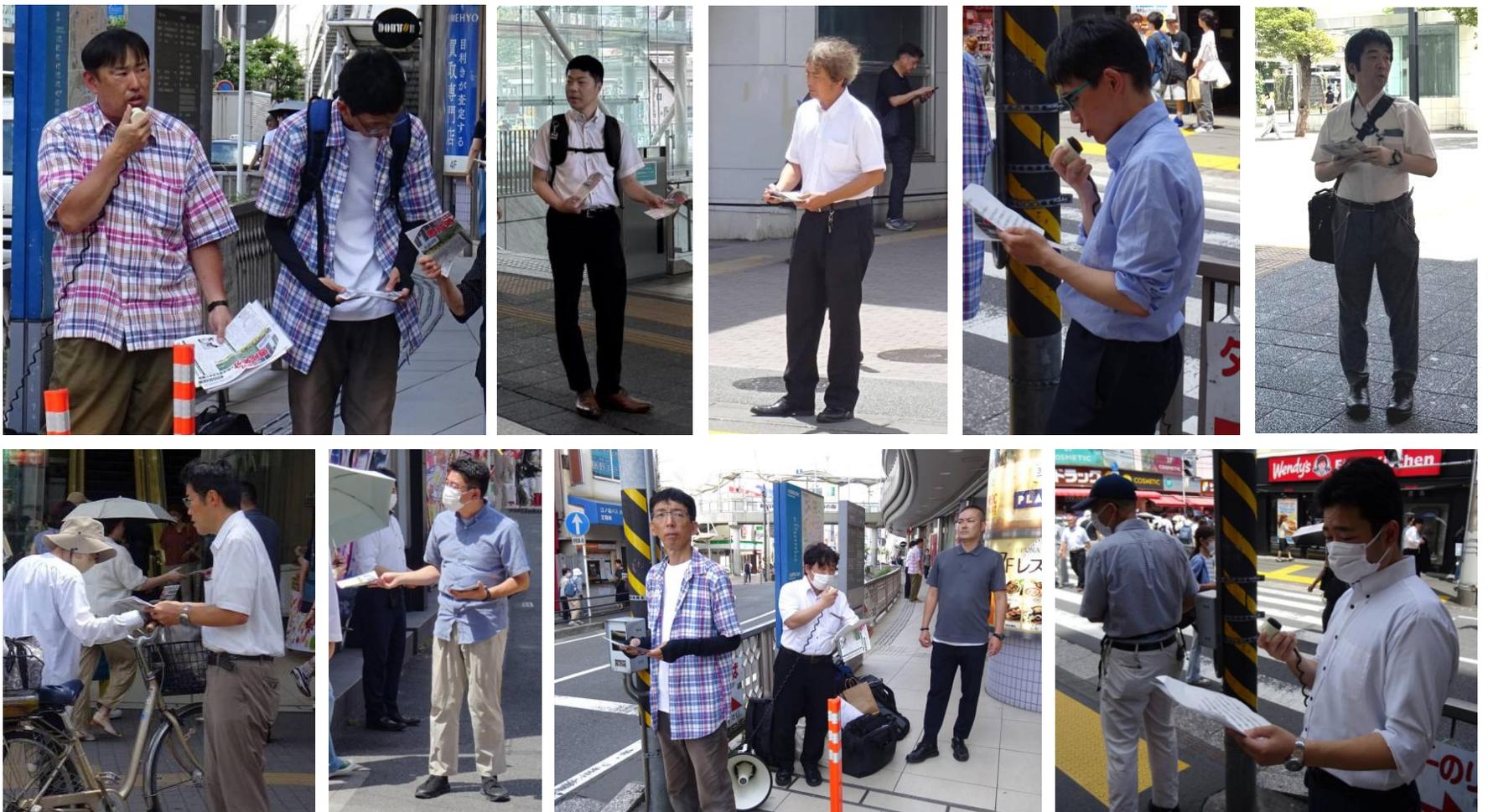
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



第2回口頭弁論に合わせビラ配布行動と裁判報告集会を開催！ (被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件)

「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」の第2回口頭弁論が6月23日に行われました。当日に合わせて、全国でビラ配布行動を実施し、本部にて裁判の報告集会、横浜地本では本部とリモート中継をつないでの報告集会を開催しました。



横浜地本として川崎駅・大船駅頭でのビラ配布行動を実施し、25名の参加で388枚を配布、その後に行った報告集会ではリモートも含めて24名の参加で報告集会を創り出しました。

ビラ配布行動では、前回同様「パワハラ」という言葉に関心が高い方が多い印象でした。駅員が受けるカスタマーハラスメントや直接の暴力を気に掛けてくださる方や、中には「経営幹部が悪いんだよ！」と、直球の意見を述べてくださる方もいらっしゃいました。

報告集会では、各機関の連帯の挨拶のほか、担当弁護士より、被告が提出している反論文によっていかなる理由であっても上司に逆らうことは許されないという姿勢が鮮明に現れていることが解説され、また、会社の提出した準備書面と加害した副長の準備書面における事実経過に齟齬があることがわかりやすく解説されました。詳しくは [6月20日本部発行の裁判支援NEWS、No.2](#) をご参照ください。

JR東労組はJR東日本武蔵小金井駅暴行事件の真実を広め、理不尽なパワハラと嘘で事件の隠蔽を図る経営姿勢を許さずたたかうことを意思統一しました。

問題を世論に訴え、組織強化・拡大を実現し、連帯してたたかおう！